

専門性高い技術者の参画により新規プロジェクトが遂行



石村 考啓
Takahiro Ishimura
人事部人事課 係長

林 卓矢
Takuya Hayashi
コンポーネツ事業本部 電装部品事業部
生産設備部 自動機技術課

大村 拓之
Takuyuki Omura
コンポーネツ事業本部 電装部品事業部
生産設備部 自動機技術課課長代理

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）では、元上場企業役員や本部長クラス、海外現地法人の責任者などが企業の現場に入り、課題解決や事業成長を支援する「i-common(アイコモン)」を提供。今回、東証1部上場で高性能電子機器向けコネクタや自動車向けセンサなどを手掛けるメーカーのI-PEX株式会社（アイペックス／京都市、土山隆治社長）が「i-common(アイコモン)」を導入。昨年8月、福岡県小郡市に開設した「I-PEXキャンパス」で新規プロジェクトに携わる大村拓之自動機技術課課長代理と担当者の林卓矢さん、さらに人事を担う石村考啓係長に、タレントアライアンス事業部 i-common 統括部福岡コンサルティンググループの本山亮が、サービス導入の経緯や、今後の展望を聞いた。

（構成・ふくおか経済企画開発部）



本山 亮
パーソルキャリア株式会社
i-common 統括部
福岡コンサルティンググループ

本山（以下）「昨年8月、第一精工から社名を変更しましたね。」

石村 「新社名のI-PEXは、「ものづくりソリューションエキスパート」の略です。当社はコネクタ、自動車部品、半導体などの多様な事業がある中で、コネクタなどが「I-PEX」ブランドで展開していました。海外の拠点があり、取引先も増えている中で、さらなるグローバル化を考えた時に、「コーポレートブランド」と製品ブランドの統一と「ブランドと社名の一致」が不可欠と判断し、社名変更に至った次第です。」

「多角的に事業展開するI-PEXの中で、大村課長代理が所属する自動機技術課では何を行っているのですか。」

大村 「自動車部品の製造受託する部門の中で、部品量産に関わる自動機の開発・設計に携わっています。自動機とは金型や成形、プレス、メッキ、組み立てなど、当社が培ってきた要素技術を組み合わせ自動生産システムで、製品コンセプトに応じて自社開発し、精度の高い生産工程のもと、高品質な各種自動車部品を安定的に供給しています。今回開発した自動機では車のエンジンや車輪を制御するセンサ部分を覆う成形樹脂を製造します。」

「i-common(アイコモン)」導入の経緯をお聞きますか。」

大村 「自動機内ではセンサの性能に関する特性検査も行っているのですが、今回メーカーからの委託で新規アイテムを製造することになりました。その製造設備を立ち上げるプロジェクトを進めていた際、より高度な検査が必要となることが分かりました。しかし、社内には適した人材が見つからず、外部に依頼することになりました。」

「I-PEXさんには専門知識を持った多くの技術者がいますよね。」

大村 はい。一部検査方法に関しては従来も当社で対応できたのですが、サイズなどの規格が変わるだけで要求される知識や技術が変わってきます。依頼した際は、特性検査に関する狭い領域の技術、知識をお持ちの方が登録されているのか、半信半疑の部分がありました。」

「i-common(アイコモン)」には1万6千人を超えるご登録者があり、以前は少なかったフリーランスの技術者も最近増えているのですよ。」

石村 ほかの事業で人材を探した際、採用サイトに専門用語でキーワード検索したら、1人しか登録していないケースもありました。自社だけで高度専門人材

I-PEX 様には構え過ぎずにお客様とのコミュニケーションを深めることをご提案させていただき、当初懸念していた課題も解決し、開発を進めることができました。また、課題へ対応した際に発生する新たな課題まで一緒に検討させていただいたことで、お客様の信頼を高めることができました。お客様に密着した開発により、今後異なる課題が発生してもI-PEX様ご自身でご対応いただく風土醸成の一端をご支援できたことを嬉しく思います。



小野 健一
ビスビット株式会社 代表取締役
1981年2月3日生まれの39歳。兵庫県立大学大学院電子情報工学修了。車および車部品メーカーでの車載部品の企画、開発、販売経験を経て、車載事業を開発するビスビット株式会社を創業

を探すには限界があるので、本当に助かりましたね。」

「コロナ禍真っ只中で、プロジェクトの進捗にも影響があったかと思えます。」

大村 6月から小野顧問に参画いただき、オンラインでやりとりしていましたが、最初は当社からの意図が伝わりにくかったと思います。それでも写真や資料を活用し、なんとか進めることができました。後半になると理解力が増し、顧問とのやりとりが円滑に進むなど予定の期間より早く終了しました。現在は、今年11月のセンサの本格生産に向けて、自動機の調整を進めており、現在入社2年目の林も含めて一生懸命構築している最中です。」

林 調整は、進んでは止まってるので大変ですが、若手のうちからプロジェクトの一端を任せられるのにやりがいを感じています。」

「サービス導入以前から品質向上にはかなり気を遣われていましたよね。」

大村 EV化などで自動車に関する技術の進歩が加速化しており、それに伴い委託先の要求する技術レベルも上がっています。今回、新しい領域に挑戦しましたが、相手からの要望に応えた上で、それを上回る製品の開発が求められています。また、自動車の部品は人の命を預かる大事なもので、市場に不良品が出ることはあってはなりません。99.9%でもダメで、100%安全な製品を提供しなければならぬと常に気を張っています。」

「その想いがあると必ず安全な製品ができますよ。」

大村 プロジェクトを進めるにあたり、小野顧問からはこちらが求めている以上の最新の技術や知識を教えてくださいいただき、本当に感謝しております。この先は自動機のプロット化や、外観検査装置の進化、自動機

簡素化などにも取り組みたいので、本山さんにはまた他の案件もご相談させていただきたいですね（笑い）。」

I-PEXキャンパス中心に福岡が国内開発の一大拠点に

福岡県には、小郡、大野城、大刀洗工場があり、国内従業員の約7割が働いているそうですね。」

石村 昨年6月には小郡市に人材育成などの拠点となる「I-PEXキャンパス」を開設し、同年11月には県内既存2工場から技術部門約330人が異動してきました。また、同じ敷地内には金型製造工場を建設中で、今年12月完成、来年春の操業を目指しています。これまで、小郡、大野城工場に分かれていた金型製造機能を集結し、約135人が新工場で従事する予定です。この金型棟が完成すると総勢500人以上が勤務する一大拠点となり、技術、製造部門が同じ場所密接な連携をとることが可能となり、技術の集約や伝承ができる教育体制が整うと思います。」

当社の中期経営計画では、「想像を超えたものづくり」でビジネスを拡大していくことを目指しています。具体的には先端市場で高速伝送コネクタの拡販、MEMS製品の販売、自動車関連ビジネス、新規参入ビジネスの拡大等を図る計画です。」

「そうなるかと当社もまたお手伝いできそうですね。」

石村 そうですね。他事業部のプロジェクトでもパーソルキャリアさんのサービスを活用したいと考えているので、再度力をお借りしたいですね。」

「ご期待に応えられるように、今後もいい提案をしていきます。本日はありがとうございました。」

パーソルキャリア株式会社
〒810-0001
福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡13F
092-715-4610
https://i-common.jp/